### はリンク

### はWAMNETの事業者情報にリンク

### 事業所名

里の家

日付 平成 21年 3月 23日

特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調查員 在宅介護経験15年

評価調查員 在宝介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

# 1.評価結果の概要

### 温評

### 全体を通して(特に良いと思われる点など)

師走も下旬に入り、世間では新年を迎える準備に慌ただしい時期に、平成17年10月開設以来 3年余り経過しているホームに3回目の訪問をした。今日は、お餅つきを午前中に利用者全員で行 い、餅を皆で丸め、つきたての餅を食べる利用者の顔は何とも言えない幸せな表情だった。元気 だった家族のこと、皆で迎えた正月のことを思い出したに違いない。午後には、カラオケ同好会のメ ンバーが慰問に訪れ、5~6人のメンバーの得意な歌を披露し、利用者もその輪に入って懐かしい 歌を一緒にたくさん歌った。日頃利用者と職員で歌っている雰囲気と全く違う環境で歌える楽しみ を味わったことだろう。

このホームの特長は、「このホームで暮らしてよかった」と利用者・家族が言って、利用者同士も 職員達も一つの家族として楽しく過ごしていることである。先ず第一は、食べる楽しみである。食材 も業者に委託していたのを今年の初めから取り止め、鮮度の良い食材をホームで買い、献立も ホームで作り、調理するようにしたそうだ。「鯖が美味しい」「大根も一緒に煮るともっと美味しくな る」等と利用者と話し合いながら調理する嬉しさがある。利用者の得意も活かせて、昔の思い出と 共に食する時間は、利用者一人ひとりの生きる力にもつながっていくことにつながってきた。

もう一つホームの良いところは広い庭にある。そこに新しい利用者の寛ぎの場ができていた。 ホームの裏庭にウッドデッキが出来、そこに皆が集える長椅子を造り、戸外でおやつを食べ、お茶 を飲んで一家団欒の楽しみが増えたことである。リビングルームの中でも利用者と職員は十分に 楽しんでいるが、このウッドデッキで一層の利用者同士の交わりが実現する。「今日は暖かいから 外に出てみない」と職員の誘いに「行こう、行ってみよう」と利用者全員でウッドデッキや南面の日 当たりの良い庭に出て日向ぼっこしながら、南面の空地の雑草の草刈りをしてきれいにした時の話 で盛り上がった。家族が来て、利用者も一緒に草刈と清掃をした。「あの時は利用者さんも草取り や掃除をしてくれたんですよ。普段では考えられないほど、元気を出して活き活きされていました」 とその時を振り返って職員が教えてくれた。

このホームを支えている職員の「仲の良さ、笑顔、元気」があってこそ、仲の良い利用者の生活 を作り出すことが出来ているのだろう。「辞めた職員も懐かしさ、憧れ、利用者への気遣いの気持ち」 でホームを訪れて〈れますよ」と職員が教えて〈れた。新しい職員もすぐに馴染める雰囲気がある。 この職員グループの良さが、このホームの売りである。

### 特に改善の余地があると思われる点

"利用者の機能を伸ばして、役割を極めてもらいたい"という管理者の話しには共感できる。この 機能の中で最も大切なのがコミュニケーション能力である。利用者が利用者同士あるいは職員とど れ位コミュニケーションしているか、"認知症の人は喋れない"とよ〈言われるが、"喋らせていない" という方が強いのではないだろうか。1日に10~15分職員と向き合って毎日喋らせてあげて欲し い。喋れるきっかけを投げかけてあげてもらいたい。

# 2.評価結果(詳細)

| 運営理念

番号 項目 できている 要改善 1 理念の具体化、実現及び共有 記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 記述回答 1、 自主評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>· Æ日召</u>			
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 記述回答 1、 自主評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	番号	項目	できている	要改善
記述回答 1、 自主評価について・・・ 良質なケアが出来るグループホームを目指す。馴染みの環境で、その人がその人らし〈堂々と安心して暮らせる場作りを提供する。 2、 全体的にみて・・・ 上記の理念を実現するために、「職員にお願いします」と、具体的に利用者さんを愛して、誠意をもって接して、その人のペースに合わせて、離れていても見守って、心のよりどころとなって、傾聴の姿勢を忘れない、間違っていてもまず受け入れてあげて下さいと明記して全職員に徹底している。「ここで暮らして良かったなー」と家族からも、利用者からも、そういってもらえるホーム作りを目指している。代表者、管理者が熱〈語っていた。その言葉通り、「娘がここに入れて〈れた。良かった」と幸せそうな笑顔で語って〈れた利用者を見て、なるほどと	1	理念の具体化、実現及び共有		
	記述回答	1、 目主評価について・・・ 良質なケアが出来るグループホームを目指すその人がその人らし〈堂々と安心して暮らせる場作りを提供する。 2、 全体的にみて・・・ 上記の理念を実現するために、「職員にお願いし用者さんを愛して、誠意をもって接して、その人のペースに合わせて、離れのよりどころとなって、傾聴の姿勢を忘れない、間違っていてもまず受けノ明記して全職員に徹底している。「ここで暮らして良かったなー」と家族からういってもらえるホーム作りを目指している。代表者、管理者が熱〈語って「娘がここに入れて〈れた。良かった」と幸せそうな笑顔で語って〈れた利用	ます」と、具ないても見ら ていても見ら いれてあげて も、利用者が いた。その言	体的に利 froて、心 下さいと からも、そ i葉通り、

#### Ⅱ 生活空間づ(り)

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<b>記</b> 計百日	) 民老が落ち美いて生活できるとうか提づ/リレーて取り組んでいるものは(	すか し	

# 記述回答

自主評価について・・: 田園風景の広がる申し分ない自然環境に恵まれていて、建物の 周辺の外部は次々に生活の場が付け加えられていく。

全体的にみて・・・: 広い敷地の駐車場の北側には数種の庭木が植えてあり、その中の 桜の木には季節外れの花が咲いて、驚きとともに心を癒してくれる。南側のフェンス越しの畑 |は、今は閑散としているが、季節の花々が植えられ、職員、利用者が談笑しながら、種まき、水 |造りなどに取り組んでいる姿が想像できる。 フロアでゆっくりくつろげる場所がある事に加え、 広 ┃い庭での散歩を楽しみ疲れたら一寸一休みが出来る様にベンチも置かれている。ベンチに腰か け、恵まれた自然の中で利用者の心に寄り添う介護を目指している。

# Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

# !!! ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		

-人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

記述回答 1、 自主評価について・・・ 入居の時、家族からのヒヤリングで得た利用者の生活歴や人間とし ての本質等の情報を把握してアセスメントをする。利用者の現状を把握して介護計画の作成、その |ケアプロセスや記録類は分かり易くまとめている。利用者のケアの柱として改良していこうとする意| 欲も伺える。

2、 全体的に見て・・: 入院前は、時間がかかっても日常生活は自立していた。1ヶ月間の入院 時、眠剤服用等もあり退院時は著しい体力低下で寝たきり状態のままホームへ帰って来られた。日 常生活動作は全介助を要し、歩行困難にも関わらず認知症状により理解力低下から立ち上がり転 |倒があったり、一時も目が話せない状態、発語・食思・活気の低下・血圧の低値・脱水等、全身状態 の悪化にて医療連携で点滴等の対処をしていた。医療より末期を告げられたが、医療連携と職員 |全員による地道な関わりで回復された。職員の温かいケアと心の通いから安心・満足・信頼の気持| ちから見事に回復して、今では元気そのもので生き返った。元気で暮らし食欲旺盛の日々を送って |いる。 ホーム全体の人々は、 このホームに来て寿命が延びているのではないかと考えている。 グ

### Ⅳ 運営体制

	4 F1 - P3		
番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		

┃記述項目┃サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か

記述回答 1、 自主評価について・・: このホームの運営方針のもう一つに「主に介護福祉事業を行い、少し でも地域社会に利益を還元すること」が掲げられている。それを具体化するために管理者・職員が

協力して努力している姿がうかがえる。

2. 全体的に見て・・: 月々に行なわれる行事、初詣、外出、ドライブ、花見、歴史民族資料館見 学、コンサートや地域のカラオケ同好会を招いてのカラオケ大会、地域住民を招いての運営推進会 |議、夏休み子供会ラジオ体操等、地域に開かれた場面が多く取り入れられている。又、職員の研修 |会などにも機会を作って積極的に参加するなど、このホームが「保健福祉」の拠点として地域に貢| 献していくよう期待するものです。